

低濃度PCB汚染機器等の処理の進捗について

2025年10月20日
電気事業連合会・送配電網協議会

1. 低濃度PCB機器等の処理実績と今後の見通し

- 2002年時点で約470万台存在した汚染機器は、2024年度末時点で台数で約99%、油量で約95%の処理が完了している。
- 2026年度末時点で台数で約99%、油量で約98%処理完了の見込み。

年度		2002年※1	2022※2	2024※2	2025※2,3	2026※2
項目						
汚染機器台数 [万台]		470 (100%)	12 (3%)	5 (1%)	2 (0.4%)	0.4 (0.1%)
柱上変圧器		450	11	4	2	0
非封じ切り機器	変圧器(柱上除く)	15	0.5	0.3	0.2	0.1
	その他機器 (リアクトル等)	0.7	0.1	0.1	0.1	0.1
封じ切り機器	コンデンサー等	4	0.3	0.2	0.2	0.2
汚染油量 [百万L]		440 (100%)	41 (9%)	22 (5%)	16 (4%)	10 (2%)
柱上変圧器		335	5	2	1	0
非封じ切り機器	変圧器(柱上除く)	95	31	16	12	6
	その他機器 (リアクトル等)	5	3	2	2	2
封じ切り機器	コンデンサー等	5	2	2	1	1

※1 これまでの電力業界での処理実績や使用中機器のデータベースなどから推算。

※2 電力業界で集計した2024年度末時点の汚染台数から推算。

※3 残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 付属書A 注釈(iv) (a)に記載の西暦。